

## 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名： 小規模多機能ホーム ハッピーハウス  
施設種類： 小規模多機能型居宅介護

日時： 令和 8年 2月12日(木) 午前10時30分～11時30分  
会場： 出雲市東部健康交流館 うるおいの郷

出席者  
(人数)

利用者、家族	人	高齢者あんしん支援センター職員	1人
地域住民の代表	2人	出雲市職員	1人
その他 ( 施設役員、管理者 )			3人

(議題)

1. 登録実績と利用状況
2. 職員体制
3. 行事・レクリエーション報告
4. その他

(報告事項)

1. 登録実績と利用状況について  
年齢、性別、介護度、家族状況、生活圏、月毎にサービス利用状況を報告。状態の変化に伴う援助内容の報告。  
【別紙、サービス提供状況報告書を配布】
2. 職員体制  
職員体制の報告。
3. 行事・レクリエーション報告  
12月15日地域から大正琴の会の皆さんが演奏会に来て下さりアンコールも含む9曲をご披露頂きました。利用者様も一緒に歌って楽しめました。  
お正月を迎えて二週目からは万九千神社に初詣に出掛けました。予定の日に地震があって驚きましたが皆さん冷静に行動して頂きお出掛けは中止しましたが、大きな余震もなくて良かったです。別日で書き初めもして頂きました。なかなか筆を持つ機会もない中で皆さん背筋をピンと伸ばして半紙に向かわれていました。地域のやすらぎ会女性部からたくさんの新聞折り箱を頂きました。いつも有難うございます。

#### 4. その他

##### 【事業所から】

- \* 上津お助けマンとハッピーハウスで意見交換会をしました。地域高齢者の生活支援の組織として今はなくてはならない。前回困り事として伺った内容は地域の課題でありその不安や心配が取り除けると高齢者は地域で安心安全に自宅で暮らすそれは小多機の根本と同じでお助けマンの皆さんにどの様な相談があって、どのように、誰に、どこに支援を繋ぐか等の道筋が分かると良いのではないかと、と言った主旨で声を掛けて頂きました。

##### 【包括から】

- \* 意見交換会に参加しましたが地域の中で事業所と互助会の様な組織の会議は始めてで繋がり強い地域、協力会員の活動は援助側でありながら生きがいや役割を感じて行われていた。

##### 【地域から】

- \* 意見交換会では地域の協力会員がそれぞれの思いをお話してハッピーハウスの働きぶりも知れた。そこまでやってくれるかと感心してしまう。様々な事例をもっと地域の方へ知って欲しいと思っている。

- \* 小多機の事業所が減っている事に対して行政は危機感ないか。適正な状況であるのか。良さを認識しているなら行政も公益的に考える必要があるのでは。エリア毎の配置なら、なくなった場合どうカバーされるか。

##### 【行政より】

- \* 令和8年度の介護報酬改定では介護職員処遇改善加算の拡充があるが事業所の運営収益とはなり難いか。介護認定調査時に居宅支援事業所と小規模多機能の事業所も一覧に載せる事と調査員にも小規模多機能の説明を理解して行える様に部会に説明内容文を確認して頂く調整をしている。また小規模多機能の事業所から行政に色々な意見もよせられ自費や有償対応など部会でも検討頂くように依頼している。